

黄斑円孔術後の網膜外層の形態改善と視機能との関連

1. 研究の対象

2012年4月～2022年3月に黄斑円孔の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

黄斑円孔は、網膜の中央にある黄斑に丸い穴（円孔）があく疾患で手術による加療が必要です。手術後に黄斑円孔が閉鎖した後に、どのようにして網膜形態が変化し元の状態のように戻っていくのかについては未だその詳細はよく分かっていません。また、それぞれの目において黄斑円孔の大きさ、術後の網膜形態変化は様々です。そこで、多施設の患者さんのデータを収集し、多数例のデータをもとに、黄斑円孔閉鎖術前後の網膜形態変化について光干渉断層計を用いて詳細に調べ、どのようにも網膜形態が改善していくのか、さらにその構造的変化と視力との関連を明らかにすることが目的です。

研究実施期間：2023年3月29日～2025年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、視力、手術内容、光干渉断層計画像 等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でデータを入れたCDを郵送します。対応表は、本院の研究代表者が保管・管理します。

5. 研究組織

研究代表者

秋田大学大学院医学系研究科眼科学講座 岩瀬 剛

研究機関の名称	研究責任者氏名
三重大学医学部附属病院	近藤 峰生
東京医大八王子医療センター	志村 雅彦
兵庫医科大学医学部附属病院	五味 文
鹿児島大学医学部附属病院	坂本 泰二

奈良県立医科大学医学部附属病院	緒方 奈保子
防衛医科大学医学部附属病院	竹内 大
福井大学医学部附属病院	高村 佳弘
神戸大学医学部附属病院	楠原 仙太郎
大阪医科薬科大学医学部附属	喜田 照代

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することが出来ますので、お申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究代表者：

秋田大学大学院医学系研究科眼科学講座 岩瀬 剛

住所：秋田県秋田市本道 1 丁目 1-1-1

電話番号：018-884-6167

当院問い合わせ先：

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科感覚器病学講座眼科学分野

担当者：寺崎 寛人

住所：鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1

電話番号：099-275-5402

-----以上